

アプリケーション用
ユーザースタートアップガイド
SMTP Server
FreeBSD 編

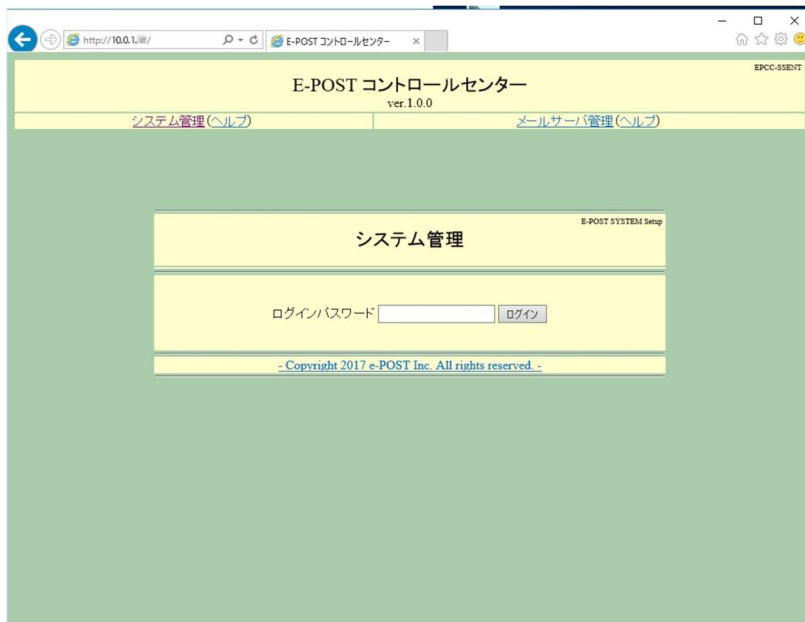
(第1.00A版)

コンソールから root でログインします。
デフォルトではパスワードは root に設定してあります。

```
FreeBSD/amd64 (localhost.domain) (ttyv1)
login: root
```

※コンソールログイン後に root のパスワードを必ず変更してください。
passwd と入力すると変更を行えます。

同一ネットワーク上にある PC から FreeBSD をインストールしたサーバーアドレスへ接続し”E-POST コントロールセンター”が表示されることを確認します。



※出荷時状態の上記ログインパスワードは”secret”が設定されています。運用開始前には必ずパスワードを変更してください。

ご使用可能とするために、メールサーバを利用可能にする最低限必要な設定を行ってください。
以下の4項目を設定することで、メールサーバの送受信が行えるようになります。

1.アカウント管理方法を選択します。

本メールサーバが、メールアカウント情報として OS 上のアカウントや独自アカウント、LDAP によるアカウントのいずれかの利用を選択します。

2.DNS サーバを設定します。

本メールサーバがメール配送時に問い合わせる DNS サーバを設定します。

3.ドメインを設定します。

本メールサーバが管理するドメイン情報を設定します。

4.アカウント(エイリアス)を設定します。

本メールサーバが管理するアカウント情報を設定します。

全ての設定が完了したら、各デーモンの再起動を行ってください。

また、ライセンスキーが未入力のままですと**30日間の試用期間状態**となっています。

設定が完了した時点で**ライセンスキーの登録**を行い**設定情報のバックアップ**を行って下さい。

メールサーバ設定例)

1.E-POST コントロールセンターをブラウザで開きます。

2.メールサーバ管理にログインします。



3.アカウント管理方法を選択します。

アカウント管理方式	<input checked="" type="radio"/> OS アカウント <input type="radio"/> Soft アカウント <input type="radio"/> LDAP アカウント
アカウント管理環境	アカウントフォルダ (Soft アカウント) 又は、所属ドメイン名 (OS/LDAP アカウント) <input type="text" value="/var/spool/epms/db/"/> メール用ローカルグループ名 (OS/LDAP アカウント) <input type="text" value="IMSUsers"/> eg. IMSUsers

本メールサーバが、メールアカウント情報として OS 上のアカウントや独自アカウント、LDAP によるアカウントのいずれかの利用を選択します。

4.DNS サーバを設定します。

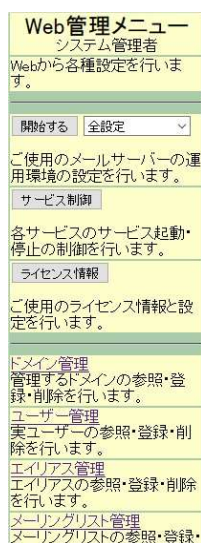


本メールサーバがメール配送時に問い合わせる DNS サーバを設定します。

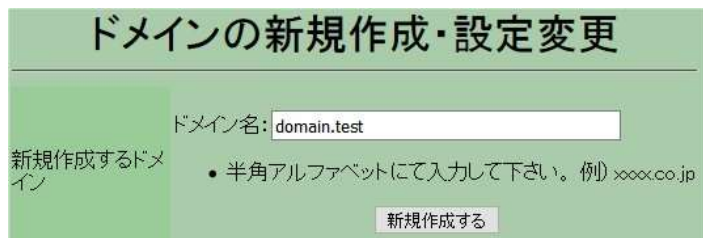
5.設定内容を反映するために、[設定]ボタンをクリックします。



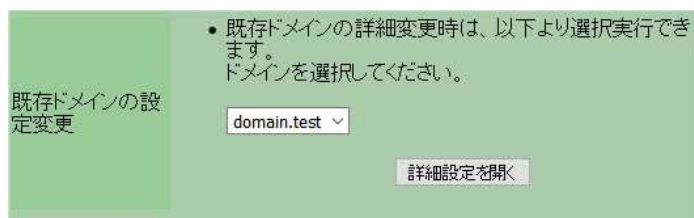
6.システム管理者用の Web 管理メニューに戻ります。



7.ドメイン管理を選択し設定します。



本メールサーバが管理するドメイン情報を新規作成するドメイン欄に設定し、“新規作成する”[ボタン]をクリックします。



既存ドメインの設定変更のリストに表示されているを確認し、ドメイン名を選択した状態で“詳細設定を開く”[ボタン]をクリックします。

ドメインの詳細設定ページ

ドメイン	domain.test
操作パスワード	●●●●●●
登録許可するユーザー数	0
メールボックス選択	<input checked="" type="radio"/> 共通ボックス(区別しない) <input type="radio"/> 接続IPドメインで区別する IPアドレス(SMTP) <input type="text"/> フォルダ名 <input type="text"/>

[詳細設定する](#)

“操作パスワード”欄に任意のパスワードを必ず設定し、“詳細設定する”[ボタン]をクリックします。

8.システム管理者用の Web 管理メニューに戻ります。

Web管理メニュー

システム管理者
Webから各種設定を行います。

[開始する](#) [全設定](#)

ご使用のメールサーバーの運用環境の設定を行います。
[サービス制御](#)

各サービスのサービス起動・停止の制御を行います。
[ライセンス情報](#)

ご使用のライセンス情報と設定を行います。

ドメイン管理
管理するドメインの参照・登録・削除を行います。

ユーザー管理
実ユーザーの参照・登録・削除を行います。

エリア管理
エリアの参照・登録・削除を行います。

メーリングリスト管理
メーリングリストの参照・登録・

“サービス制御”[ボタン]をクリックします。

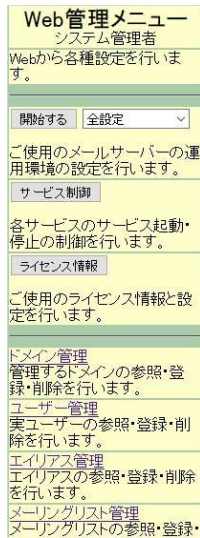
設定を反映させるため全サービスの再起動を行います。

表示されている各サービスの“停止”ボタンをクリックします。

表示が“停止中”に変わったら各サービスの“開始”ボタンをクリックします。

EPSTRD	起動中 停止
--------	------------------------

9.システム管理者用の Web 管理メニューに戻ります。

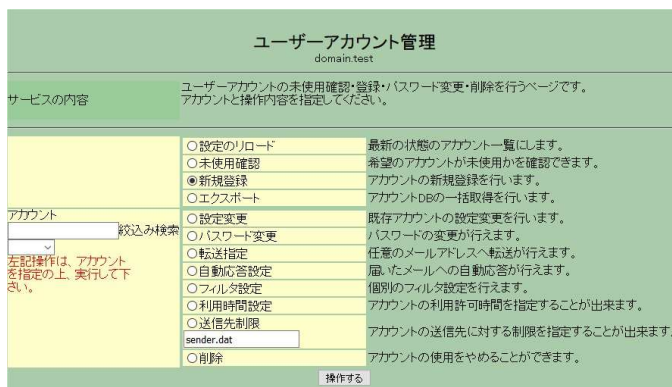


10.ユーザー管理を選択し設定します。

本メールサーバが管理するアカウント情報を設定します。



ユーザーを追加・編集したいドメインを選択し“ユーザー管理へ”[ボタン]をクリックします。



ユーザーを追加する場合は、“新規登録”ボタンを選択し、“操作する”[ボタン]をクリックします。

作成するユーザーを“アカウント”欄へ設定し、認証のためのパスワードを“パスワード欄”へ設定し、“登録する”[ボタン]をクリックします。

成功すると、アカウント欄に追加されます。

以上で、メールサーバの初歩的な設定は完了です。

登録したユーザーでのメールの送受信が可能か、メーラーや telnet など接続確認を行って下さい。

設定項目の詳細については、Web 画面のヘルプもしくは、「E-Post Mail Server Web 用管理ツールマニュアル」をご参照して下さい。

E-POST Mail/SMTP Server (Std./Ent.)のライセンスキー登録

1. E-POST コントロールセンターをブラウザで開きます。

2. メールサーバ管理にログインします。

The screenshot shows a web management menu with the following elements:

- Web管理メニュー**
ver.5.00
Webから各種設定を行います。
- システム管理パスワード**
[システム管理メニュー]
- ご使用のメールサーバーの全ての管理を行います。
- ドメイン管理者メニュー**
ご使用のドメインの管理を行います。
- ユーザー管理メニュー**
ご使用ドメインのユーザー管理を行います。

3. [ライセンス情報]ボタンをクリックします。

The screenshot shows a button labeled **ライセンス情報** and the text: **ご使用のライセンス情報と設定を行います。**

4. [ライセンスキー]欄にライセンスキーを入力し、[設定する]ボタンをクリックします。

The screenshot shows an input field labeled **ライセンスキー** with a series of dots representing the input area.

設定情報のバックアップ方法

1. E-POST コントロールセンターをブラウザで開きます。
2. システム管理にログインします。



3. “設定情報バックアップ”の[実行]ボタンをクリックします。



暫くすると、“backup.tar.gz”というファイル名としてバックアップされ、ダウンロードされますので大切に保管しておきます。

4. 以上でバックアップが完了しました。

設定情報のリストア方法

1. E-POST コントロールセンターをブラウザで開きます。
2. システム管理にログインします。

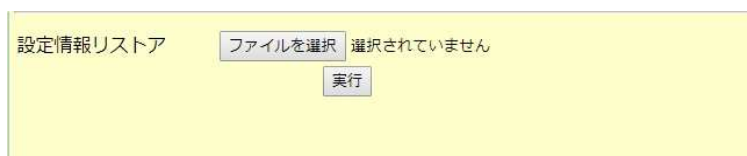


3. “設定情報リストア”の[参照](IE の場合)/[ファイルを選択](Crome の場合)/[Browse...](Firefox の場合)ボタンをクリックします。

IE の場合



Crome の場合



Firefox の場合



設定情報バックアップで保管していた“backup.tar.gz”というファイルを選択し、[実行]ボタンをクリックします。

4. “backup.tar.gz”のアップロードが開始され、暫くすると、リストアが完了します。
5. 以上でリストアが完了しました。